

# STUDENT VOICE



Tomomi SUNAGA

MELBOURNE, 2020

数ある語学学校のなかでもGreenwich English Collegeを選んだ最大の理由は「論より証拠」で、メルボルンで知り合った流暢に英語を使いこなす日本人の友人たちが、いずれもGECのケンブリッジ試験対策コース (FCE)を修了していたことです。

一般的に、TAFEや専門学校への留学にはIELTS5.5程度の英語力が必要だといわれています。私も同程度の英語力を身につけ、5.5のスコアを持って専門学校に入学したはずでした。しかし、いざコースが始まってみると、Speakingは言うに及ばず、授業のListeningや課題のWritingにも大苦戦、といったありさま。また、ローカルの職場ではお客様や同僚との何気ない会話や電話対応が苦痛で仕方ない、といった典型的なダメ留学生でした。もっと難く英語を使えればお客様にさらに質の高いサービスを提供できるはずで、その日々の自己嫌悪が、英語のやり直しを決意させました。

そこで、まず基礎から固めるためにケンブリッジのPETからスタートし、FCEへと進みました。ケンブリッジのコースが優れている点は、4技能はもちろん、Grammarにも重点が置かれ、バランス良く力をつけられるところです。その後、受講したIELTS対策コースでは、毎週行われる模擬テストのスコアが順調に伸び始め、苦手だったWritingは7に届くようになりました。これは、FCEでGrammarとVocabularyを強化したおかげだと思います。いまの英語力で専門学校に入学していたら、もっと多くのことを効率的に学べただろうと悔やまれます。IELTSのスコアを伸ばしたい方は、先にFCEなどのケンブリッジコースを受講することが、一見遠回りに見えて近道かもしれません。また、一般英語コースなどとは異なり、同じクラスメイトと12週間にわたって一緒に学ぶため、自然とお互いの仲も深まりました。

残念なことに、FCEコースを終えた直後に新型コロナウイルスのパンデミックの波がやってきました。GECでは、シドニー校で感染者が報告されると即座にZoomを使ったオンライン授業に切り替わり、その翌週からロックダウンが始まりました。ほかの学校で学ぶ友人たちの話と比べても、GECの対応は迅速だなと感じました。

とはいえ、私たち生徒も学校にとっても初めての非常事態です。不安が全くなかったわけではありません。そんな大混乱の中でも、先生方は様々なウェブアプリを取り入れるなど、オンラインならではの工夫を凝らしてクラスを盛り上げてくれました。本当に感謝しかありません。日常生活ではロックダウンで仕事もなくなり、ともすれば、ふさぎ込むか自堕落になりがちなか、毎日のクラスは良い刺激になりましたし、新たに友人もできました。また、ロックダウン中もFCEの友人たちとオンラインで交流が続いたおかげもあって、ポジティブでいることができました。もし、GECで学んでいなかったら、今頃はどうなっていたか…想像できません。

これを書いている2020年7月現在、私たちは国を自由に行き来することができません。留学の予定が狂って悔しい思いをされている方も大勢いると思います。そこで、GECは日本にいながら世界中の生徒と一緒に学べるオンラインコースを作ったそうです。このスタイルは1対1のオンライン英会話とはまた違った、何より、日本語が通じない場で、しかもクラスメイトという第三者の前で英語を話すことは得難いチャンスなので、その後の留学にもアドバンテージになるのでは、と思いました。そして、渡航制限が解除された時には、オンラインクラスでできた友人と実際にオーストラリアで再会できるかもしれません。いま私も、GECで得た友人たちの母国を訪ねられる日が来ることを心待ちにしています。